

第九回 (株) 有線ブロードネットワークス番組審議会 議事録

開催日時：平成 15 年 6 月 12 日 11:00～

開催場所：(株)有線ブロードネットワークス 山王パークタワー13F
プレゼンテーションルーム出席者 委員：小林亜星、有馬祐行、池田憲一、山本武司、渡辺英夫、青木寶久、大島綾子（順不同・敬称略）
放送局側：10名

議事内容

1. 会社動向及び報告事項

2. 番組改編に関する報告

- 昨年末、新たにリリースしたパッケージ商品「昭和 MIX」「WORLD・RADIO・MIX」についての報告
- 今秋に予定している番組改編に関する報告

3. 番組課題

I-26ch「ビジネス・ステーション」について

4. 番組審議

- 「ビジネス・ステーション」内には「ビジネス法律相談」「ビジネスブック・ラジオ」「ビジネス・セミナー」の3つの番組があるが、それぞれの主旨及び関係がはっきり区別できない部分があるので、各々の番組の主旨、雰囲気、コンセプト等にメリハリをつけたほうがよい。例えば、3番組のうちの1番組を核として、その番組を中心に他番組へ展開するなどの構成をしてみてもどうか。また、リスナーがいつ、どこで、どのように聴いているのかという想定をさらに推し進めた番組づくりを行ったほうがよい。
- 「ビジネス法律相談」について、テーマとしてリラクゼーションを取り上げているにもかかわらず、以外に一般論的であっさりとした感じがあったので、もう少しリアリティのある伝え方をするための演出が必要である。
- 「ビジネス法律相談」について、敢えて難しいテーマを設定せずに、リスナーに身近に感じられるようなテーマ(例えば"育児休業"など)を取り扱ったほうがよいのではないだろうか。
- ターゲットを、仕事で多忙かつ疲労を抱えるビジネスマンに設定しているのであれば、それらの人たちが番組を聴いて元気が出たり癒されたりするような、"ビタミン剤"的な番組でなければならない。また、飲食店等に従事している方へ向けて放送していると仮定すれば、それらの人たちが身近に感じられるような話題を番組の中にもってくるべきである。
- 「ビジネスブック・ラジオ」について、番組内で単に「すばらしい」本を紹介するのではなく、何げどのように「すばらしい」のかをもう少し具体的に説明したほうがよい。
- 「ビジネスブック・ラジオ」について、紹介する書籍の基準が不明瞭に感じられる。その書籍を取り上げた意図、つまり「何の為にその本を取り上げたのか」という意図をもう少し明確に説明すべきである。
- ビジネスについての成功事例だけでなく、成功事例と失敗事例を対比させたような展開を考えると、もっと構成上の幅が広がり、面白い番組になるのではないだろうか。
- 「ビジネス・ステーション」というタイトルに関して、いかにも堅そうなタイトル表現がされているが、実際に番組を聴いているとタイトルほど堅い内容ではないので、もう少しタイトルを柔らかい表現にしてもよいと思う。

- ビジネスコンテンツは画像を必要とする場合が多いので、その部分を音声だけでどのように伝えていくのかが今後の課題となる。